

行事のご案内

彼岸永代経法要

9月23日(火) 午前10時

報恩講

10月5日(日) 午前 9時半(午前中に2座お勤めします)
11時10分

法話：中井賢隆師

- ★9月14日、お彼岸・報恩講に向けて清掃奉仕をお願いします。
- ★10月5日のおとき(昼食)、ごゆっくりお召し上がりください。

総代、世話方の皆様へ

報恩講準備 … 10月5日8時より 幕・提灯・お飾り袋入れ等
 // 片付け… お参り後
 以上、よろしく願いいたします

つばき
あゆみの



今年も厳しい残暑が続いておりま
すが、皆様いかがお過ごしでしょう
か。

先日八月二十日〜二十七日まで、
京都・本山佛光寺にて開催された夏
安居に参加して参りました。

全国各地の真宗佛光寺派のお寺か
ら、私のような勉強中の僧侶が集ま
り、お釈迦様や親鸞聖人、真宗佛光
寺派について、声明についてなど、
実に多くのことを学ぶことができる
場でした。

その中でも、正信偈に書かれた内
容が私たちにどのようなことを説い
ているのか、学ぶ時間がありました。
正信偈は七文字×百二十句で書か
れたもので、書き下し文を読み、大
切なところを深掘りするという学習
の場でした。

ですが、古文の難しさと、仏教
の深さが相まり、私は雰囲気でき
か捉えることができなかったのが、
自分の未熟さを痛感するところだ
りました。

そんな正信偈ですが、これは親
鸞聖人の著された『顕浄土真実教
行証文類』という書物のほんの一
部である、というのが今回の夏安
居で学んだ一番の驚きでした。

それでも、正信偈は皆様にとつ
ても触れる機会の多く、大切なこ
とが多く詰められた親鸞聖人のお
言葉なので、まずはどのようなこ
とが書かれているのかをしっかりと
学ぶことが、私の大きな目標とな
ります。

親鸞聖人の教えは実に深く、学
び続けることの必要さを感じるも
のとなりました。
あと二夏、夏安居へ懸席します
ので、多くのことを学び取ってい
こうと思えます。